



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2024年4月23日

企業・団体名 株式会社スマートレジリエンス

代表者名 代表取締役 竹田 正和

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	<p>【目標】 エネルギー消費の節減に関わるエコドライブと資源の再利用に努める。</p> <p>【実施状況】 ・エコドライブ：年間燃費実績は昨年度対比で0.35%改善した。 ・「ISO14001:2015」の更新申請（SDGs対応）は2024年03月05日に認証済。 ・「グリーン経営」の維持申請は2023年10月20日に登録認証済。「グリーン経営」の更新申請を2024年08月内に予定。 ・資源の再利用：紙媒体からの転記作業を辞める事からデジタルデータ連携を主体とした仕組みから時間・労力・コストを最小化している。 2005年から紙媒体のIT化に取り組んでいることから、容量無制限のクラウドストレージに興味を持っていた為、2023年までにOneDrive for Business容量無制限を整備完了済み。 クラウド型会計システムを活用により複合機のスキャン機能やスキャンデバイス（ScanSnap）をフル活用し、紙媒体のファイリング並びに文書保管業務の最小化を目指している。 ・エネルギー消費の節減は労働成果物の再活用が出来るデータを意識し、合理的な仕組みづくりが続いている。</p>
2	<p>【目標】 「健康と安全」の認定継続とデジタル化を応用した作業負担軽減及び生産性向上から社員が長く働きやすい環境づくりに努める。</p> <p>【実施状況】 ・2024年03月08日に『健康経営優良法人2024』更新認定。 ・2023年10月20日に5回目の『安全性優良事業所』更新が完了。 2027年07月に6回目の『安全性優良事業所』更新から長期認定事業所用『ゴールドGマーク』を目指す。 ・「DX認定事業者」とマンパワーに頼らない『簡単・持続可能』かつ『ヒューマンエラー、時間、労力、費用』を最小化したデジタル化の仕組み作りは、次の通り。 ①2016年にMicrosoft Accessで構築した産業廃棄物 manifests 管理システムをクラウド型サービスに切換え、紙 manifests 負担比率を小さくした。 ②2024年問題における運転者の労働時間管理は2年前に解決済みであったが、運行管理者の点呼業務負担軽減を解決する為、国土交通省の認定を受けた自動点呼でクラウド型IT点呼ツールを採択、2024年4月からスタート済。 ③『LINEWORKS（企業向けのクラウド型ビジネスチャットツール）』と『kintone』を活用し、次世代クラウド型日報の仕組みを準備中。 ④運転者台帳、車両台帳を『kintone』で整備。営業担当者毎に作成していた見積書（Microsoft Excel）を一元・体系化する為に『kintone』にて構築完了済。 ⑤月次安全・衛生会議では（一社）富山県トラック協会が推奨したクラウド型『ラーニング』『グッドラーニング！』を活用し、12項で構成された『グッドラーニング！』は2024年03月02日に完了。2024年04月06日から安全教育のエキスパートである【株式会社ディ・クリエイト】が作成した『法定12項目～トラック事業者向け動画配信&De-learning～』を新規採択、楽しく・能動的な教育を継続中。</p>
3	<p>【目標】 「下水道管路」等、強靱なインフラ整備と住み続けられるまちづくりを持続可能にする役割をする為、資格の向上に努める。法規制を順守した大気の水質と廃棄物の管理に努める。</p> <p>【実施状況】 ・2023年10月29日に有資格者の等級（下水道管路管理主任技師）が上がり、2022年から更に1名増加した。 2024年度下水道関連の資格試験 2名申込済。 ・「グリーン経営」の更新申請は2024年08月に予定。 ・「ISO14001:2015」の2025年02月07日に維持審査予約済み。</p>

※宣言日から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。